

80

70

60

50

40

30

20

10

0

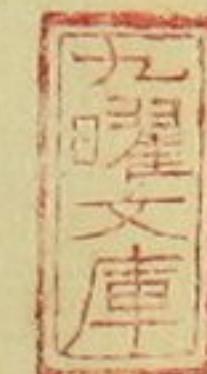
花
也
詞
者
三十



ほせのゆゑ

二条院ノ東

ひくべの院のうちもと。まちの室ともう見え
うのちもと。うの巻つらざれす。うけて。ま
だうけつ。まだあぐまの風。うき流東乃
巻のあとのゆふと。がーと。うきて。う。まく乃
あいのゆふひくべのうちもと。うきて。もとと
ゆばして。じまひて。うざり。めぬ。一人だけ
じびと。じま。よべと。くー。の。うきて。ま
あ。も。もう。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
ほんとんも。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。



のびりゆひめぐらむせがのかへどおひうとづき乃
ほどとひうちよつまうやひごとくにみはり
人ぐざよ申こそてうけもきれぬれあひきさゆのつ
れうきくほいへ。またさひまきうめぐくうを。
うてあくびうらうのえくありとてうそうであたら
もひびワ黙思をうかとえのれあきく教あきね力のゆ
そそあうまれぬむうううううううううう
うううううう。へワほううううううううう
あんとあくわくと。うううううううう
あひ出くまくられぬううんむやくあもれあ
黙思へた尼老

あんさう。さうでももれへあけり。あんすりあ
して。こののとくすみあぐくづくひちま
あんやとよあぐくづくひくづく人も
あく一経。おやしらやがよもりてゆれど。
ももやうぞつくろひてやぢりゆうと。じ善のれより。
原のゆはの川樓西寺三吉三三
あんやとくげき。あくのくのくわんのくうひとうこゆ
り。あくうれはいあくがまわや。あくひゆん。
入合内
あくうれも。あくほのゆけ。くくけてとくふ
ことあくと。とのくくくようちのくく。あく

あくん。あくと。あく。あくのくと。あくと
りふ。かづくらう。すくあくや。のと。えきりつ。あく
くもうくれば。あくあくちひうて。あくづく
うへはつちり。こくの田もくり。あくづくと。あ
りづく。あれゆ。あ。故民えんのよめ事二男伴
ゆうと。あんと。そのあくのくと。あくと。あ
あやうげ。あく。びげ。あく。びげ。あく。あく。あ
それうど。あく。あく。あく。あく。あく。あく。あ
田もくやうのくと。あく。あく。あく。あく。あ
やうよ。あく。あく。あく。あく。あく。あく。あく。

せゆと候う事も。ばとくも尋ねを。
そのともり候う事も。さへんちどりす。
ちのりもひとられば。づくもそく。そのち
あれやどもくうりよりて。あんづそぎのくうけ。
やうよかひとくんも。さうらうも。のびん
とおうがまくわざ。おばせば。づくものく
つぐとおーきのうちのせよ人のりひつ
てん。今ひとまへ入らざまぞやとおなはす。
大井
のくうもくぞ。おうのわをあんちひ出づると
きくもけり。よもじらりんととくげ
のくわすく。あらうきりと見えゆふうちり

くね心のうひれとおばへうりぬ。椎光射尾。
れいのきづくらひいのとく。うひのうま
か人されど大井くまて。うくべとくにあ
このううひやくをせぬなり。あくとお
うて。海づくらひのすまゐよ。うくべとく
きくわれば。うのすまゐよ。うくべとく
べとあびとくらひを。うくべとく。うく
あらう。鶴殿の心ぐくや。とくすおゆくろきま
さり。流れ川づくまえを。うめねしげよ。うよ乃
り。うゆかく。ううさんでんのとく。うくべと
きくわのう。うのまくとく。うくべとく

らひもどまでも。かへりよふ。まづくわらひ。まづく
あびて。^第かへりよふ。のれざくて。じよくく
やすよくへりよふ。ゆゑとあるれんとて。義よへ道乃
あるばそそびたり。まよふんとて。あまざれて。
あびよも。すばで。かどく心ハいふ。あり
そぞれ。かようと。のへらぬ。さづひや
そぞれ。くわばや。^{入道}や。かわらぬ。むらひよて。
のびかさひ。はな。じうねて。まきて。ねび
わらひ。こちの。まくら。じうねて。まきて。ねび
あひそです。さんづ。せの。じく。ざく。うる
あれが。すうひ。を。かわて。あら。じ。と。の。まくら。

ワラホと。ざま。で。わゆ。く。べ。く。く。よ。う。り。か。の
とも。く。み。ま。も。い。く。う。義。よ。り。く。い。ざ。ざ。よ。あ。く。の
尾志
入後。尾志
の。く。う。よ。も。す。ま。の。す。け。も。あ。れ。れ。ば。ま。く。て。く。れ。よ
と。く。う。ふ。う。け。と。ど。ま。ん。く。あ。る。う。ち。う
人の。あ。き。も。あ。く。う。ひ。う。く。う。く。う。れ。そ。あ。れ。て
ワ。く。行。ひ。う。か。う。う。ぎ。う。と。ま。す。て。ゆ。て。ひ。え
え。き。う。う。う。う。れ。そ。せ。を。う。う。う。ぎ。う。う。う。う。う.
あ。れ。よ。か。う。う。あ。食。と。う。う。う。よ。か。て。う。う。う。う.
一。う。う。う。と。よ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.
ワ。く。う。う。の。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.

物モノをヲうきウキてテまきマキたタ風フウをヲハハくクもモくク
ドトートとトすス波ハシシでテ袖アラれガラちチりリ。然テふ
はハはハあれバまマのノわワれレどトりリきキのノうウらラうウてテ。
そソのノひヒとトあアうウたタ。臂カツをヲくクてテ虫ムカのノねネ
そソうウあアくクよヨ海シのノるルとトミミづヅてテおオうウよヨ入エ
れレいイのノごゴおオうウすス。あアまマすス。されレすス。さサうウらラきキ。
とトこコあアいイおオうウすス。うウらラ。うウらラ。うウらラすス。れレどド。れ
もモれレもレひヒとトのノびビごゴ。ウウらラ。ウウらラ。ウウらラくク
うウらラ。げゲ。まマひヒりリけケふフのノつツうウてテ袖アラ
はハはハまマまマうウらラ。えエ。ぎギりリつツをヲ。入エ道ダ。れレてテまマいイ
きキ。まマいイ。まマうウ。やヤ。まマいイ。まマうウ。やヤ。

身カラをヲいイまマくク。あアくク。まマまマでデ。いイ
でケすケ。くクそソんンとトすス。んンとト。いイあアくク
合りリ。記メとトくクよヨいイのノ、つツわワ。修セ。うウ、
ぬヌかカいイのノ用ヨウ。うウうウ。うウうウ。やヤ。うウうウ。
のノうウうウすス。あアまマ。

尾末

身カラをヲいイまマくク。あアくク。まマまマでデ。いイ
まマ事モノれレなナよヨ。まマどドりリ。そソ。ちチもモうウ。修セ。うウ。うウ。
あアりリ。うウうウ。修セ。うウ。うウ。つツわワ。めメ。うウ。月ツ。のノ。うウ。
えエ。ばバ。うウ。まマくク。うウ。まマくク。とト。うウ。のノ。うウ。まマくク。
うウ。よヨ。うウ。ばバ。うウ。あア。やヤ。がガ。

第三

つツまマくク。あアいイんンとト。いイまマくク。うウ。かカくクりリ。

あらわせとばれまんとくうよとくまの経

て。おどりよひて。おもかげて。をひつ

川。^{入道とまか}すよなのゆめかひきかひけーと

きりせ中入道河とすてく。めく。人のくまへとく

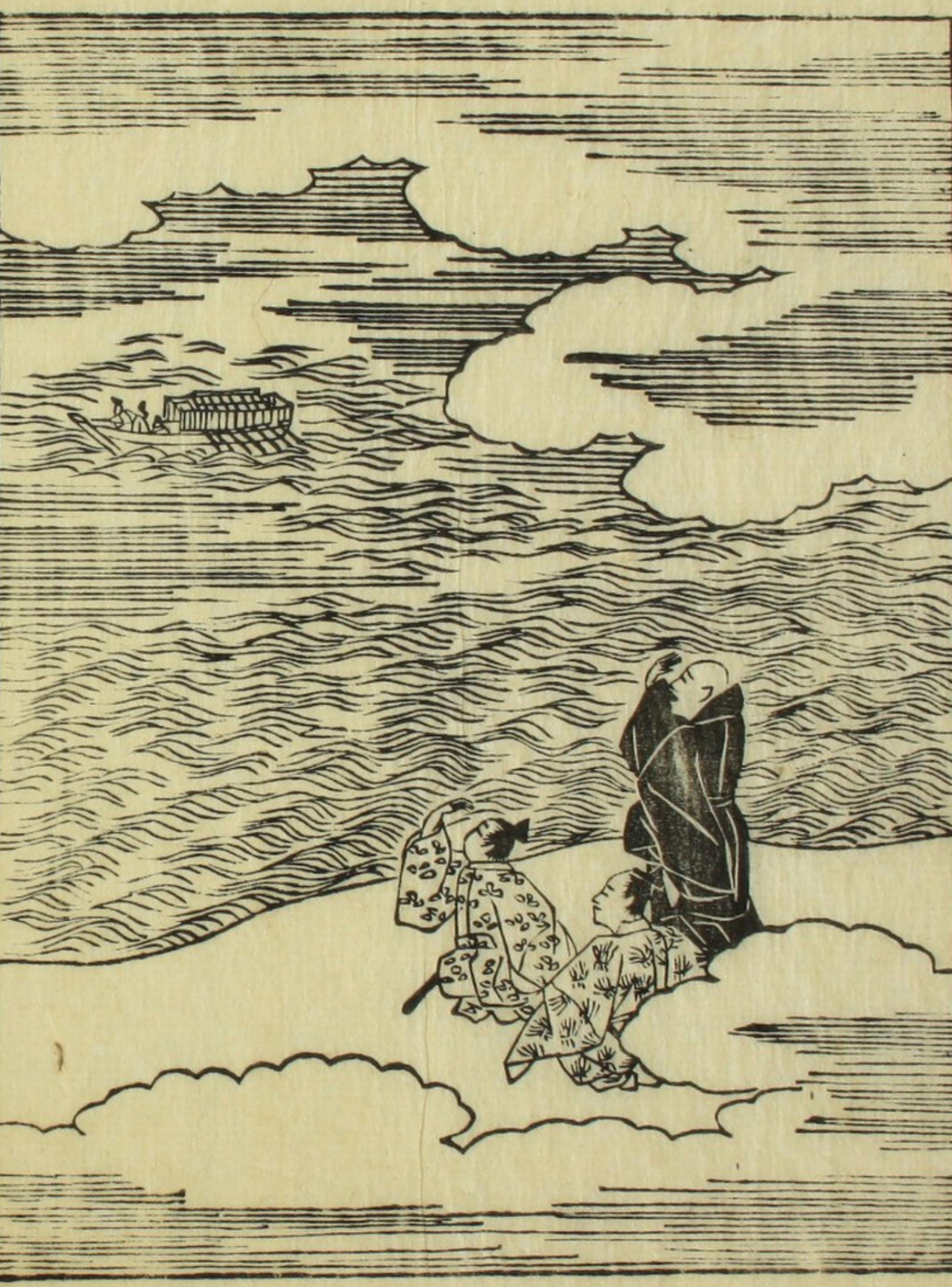
ざりゆ。とく。おもかげ。おのゆくみやう。おぎ

く。のめく。おもかげ。おもかげ。おもかげ。

おもかげ。おもかげ。おもかげ。おもかげ。

身の筋どとよもぬうとがぬよもくううをげきゆ
れど、づゑ詫のうりでおりへキトテテ。れすくと
のれかへよ。ううもぐくよ月日をあつて、ね
んも、うとうて、けあう。せとよねば、くまくへば
みまく、うるはまくひ、うめく、うれど、ばせ
あくせ底すく心くべやく。あくちのせをく
し、うきひうもうされば、おづくら山ぐの、心を
もくじる、ひうもく、れが、おづくら山ぐの、心を
人のあやしく、のまくよく、一時ア
さひあずへて、よもく、つれよりわ、拿川き
ねと、よき、すと、後のちの、と、ば、ア、あじふ。

引ぬ別よれぬううき、れあく、うひもく、ぬ
く、うもく、うん、クまで、づゑ詫の、れとく、ま
ん、六時の、ゆくよもれ心、ううまぞ、おめ
ざきとて、これ、ううらひ、そく、車、ハ、わ、ま
つ、けんも、あきく、うへづき、れも、ワづく、り
そそ、うの、べ、も、あら、だら、よ、く、う、ふ、の、ぶ
れ、れ、舟、そ、あびや、う、と、く、う、か、う、の、け、
舟、づ、後、じ、うの、人、も、あ、く、い、ひ、け、御、の、お、う
ふ、あ、う、や、く、ま、よ、づ、く、あ、う、く、く、お、心
す、も、う、く、く、あ、れ、て、あ、く、あ、お、う

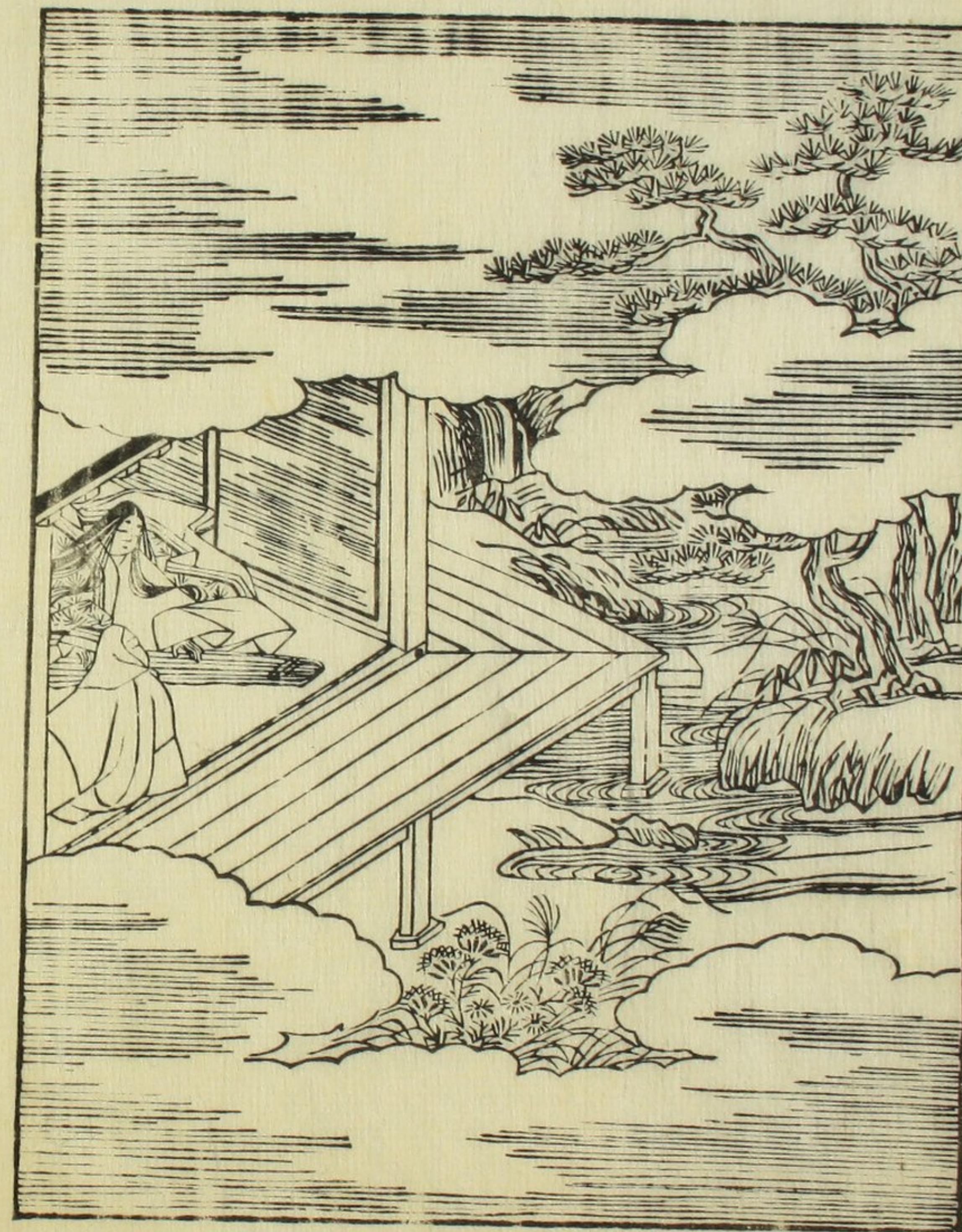


尼
うきよとて今まよるれあきよすわ
おどりもうちよみ経
尼
北至よそうりよあま船のむす
くまうきよふれがる
火
いくつりゆきよ船をせんづつうきあ
のりてつれくよんおめつこのうきよとくさ
けり日ごくよどりきぬへよえとくざれじの
もあればくらの船もくらよもくらう。船志
きぬよおきようてきじうへいの海げよおば
ればあくようらむきよおきのくよひせれ
て。義うきよくあひうづくそくうらうあくよ故

あつま風よ水のあざれもおうとうもくへう。ま
こぬやうやうしたわのじすみのうがまでもあるぬ
べ。まくらをけいへよおゆをきて。ばもうけの
くもをせぬき。うらはりぬりくも。とうりゆば
くもぐるゆく。日ごろへぬ中くわめふりく
らむて。もとく家あも無うつれくあれば。れ
くもこのくじとくまくす。かうのつうじとくま
くされば。ぐるれつうくまくらみて。すく
ひくよ。松風もくもくひ。さわひうち。河まよ。がく
がく。ひそとくうすくゆく。かくわ。ぐるく
尼志 カタツメひくよ。くらう山里よ。く

あつま風よ吹かる
君
あつまようせのあとを走りてまえづるよ。く
あれうわく

かうよもれうてあくづけよ。おど
きくさうらまくはれば人先をもえ
もくあんじでつうしをおぞみすりも
くさんとくよもりをもりひざりけりを
御のまくわやあもきほとせざとこすりほり
おもくびとゆうどりもあくでほくす
くらむりんとひしとへそへほりくらく
くめてもうあれどうろぐうてあんごくの
うとううがうりうさ佛のゆきひくべれど
二三日ひまうかんとくまくまくの院とよ
くよだよひくをねとくまくとこよす人ほき



よやとおもとよみづきうちければ^レのまくへあ
の後もんほどや。まちどきゆと心ゆねぬた
ありれのりくべぐもとれうあれづくへのあ
まく風ちうりやくもせへもつまうせと。
ちくやわとれうもうり縁^{カタ}どよ。まくけぬ。おのび
やくふかうとくのまくでせづへにてひう
きみうそそればよがつうさう^ハのゆご
やつれより一^ハじよせよもくめゆらきとまとて
きうれじてひくつづるひとまくはくぼーす
ぐくせよもくもくのまばゆきゆらすれど。
まくひくづのやまくまくやくわく^ハなげ

一^ハえそて。ワ^ハおきう経もひ。あさくはむばれ
ん。今までまてけりうてのぞよあさくまくまく
や^ハまてあがく。お廢^ハうのまと。うくうけ
ありとせんもくまく。しれはようれび人のまく
ありうく^ハそひそひすうれう人のひぐらひもくう
あれと。うちあくまくのちよ。うくうけうが。あい
きあうきあくひうと。ひくうくうくうくと。おばと
うれと。おうくうくうくのうと。おうくうくうくと。おばと
ひくうくうくのうと。おうくうくうくと。おばと
おばと。おうくうくうくのうと。おうくうくうくと。おばと

とおひへとせれれはつあうきわようけうへ
てのくへど。宿
まあるもとりあり。おひへとあうけ
くわへとてううべとくらぐのあづり
くまくまへうりやうくまくまう。おほきくま
のあんとつりくべへとあくされぞ。うき
くまのくへ。あくあくまううけり。これさざ
まくま。前載前のあれすつううど。くくらを
ゆくこのてつざむれまうびうきつを
ありありてきれど。がくくめくわられ。
ううあとつまくまくまう。あひちまつぎある。

ほほかきそとまよをみるのあらうあらう
さてとまくまくまくまのばく時ときまくまくまくま。
ううくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
くまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
のぞくてこまうよ。おひまつまれ。おまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
水のこくづくらもを落とて。ひくもあめく
うちもすく。せとけくくくく。つとりでくまくまく
とまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
ほまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

やへばとこちひの間で衰むをあわす
いとづくをひすみゆきすます
うせよりかのへつじあくすまくす
こゑいなままりてあそきほんとくぬぐ
さんとくちのの経度義をゆせと今く
うちうさすをとおもとおれめうとうち
今うみきよまくまくられめうとうち
うちあせびげよびぐららひまくとせ
や。か葉のねもつまたこのくはあひまと
いもひそすとあくまくねがゆへやつべと
もぐれゆあくまくゆげひ

う。おおさりよ。かのうりひりあくまく
あくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

まくまくまくまくまくまくまくまくまく
やうのあくまくやう。けまはあくとつひけう
ゆ。あくまくまくまくまくまくまくまくまく

あくまくやあくまくまく。あくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく

時ときとがさうされよ。よもよへとまちゆきをかづき
くふく。おもてやねづうのよごう佛のゆゑゆゑす。
うぐいすうぐいすのわのあくまうすうり経おほきよひだき
おのとおぼへおぼへせりすゞさずれましむ。
ゆきとぞ出ほるそこもとくらむ衣きぬあつまふ。え
あびぬあびぬで、まきまき経おほきよひだきめぐらす
ひよへんのゆりはまれ心こころりゆふ。

葉はしよよねくのまくべよべよく

心こころのゆくとあらわや。か

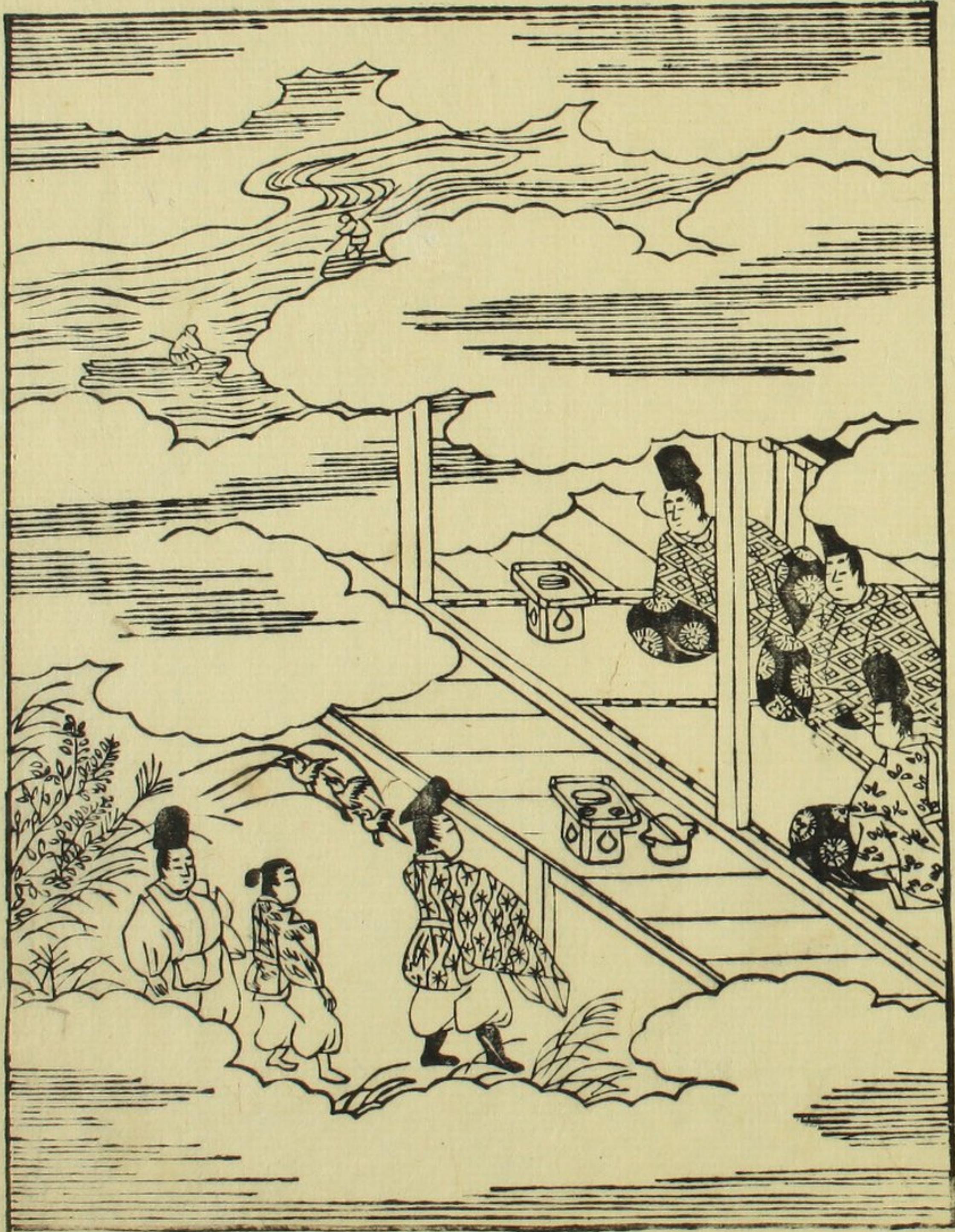
ひよよねをそくくわざとくのまくべ松まつの

しづちゆめく。かよあまうすうま信しんすみれ
よもじゆびゆびまうりよけうらけひえあまゆふ
すくまうり。ううまうり。うまうり。うまうり。うまうり。
うまうり。うまうり。うまうり。うまうり。うまうり。
うまうり。うまうり。うまうり。うまうり。うまうり。
えうちぬので泪なみぐみて。おまきくさうらう。一
のゆくまうり。うちゆくまうり。後のあびあびもつまぬれ
さんとおまくせど。よもんくまうり。めくら。
すくまうり。ひくら。やうくまうり。めくら。めくら。
ひくら。ひくら。ひくら。ひくら。ひくら。ひくら。

絵説

ひがみあさひのくに

それがあれやうて
それあらへと。いづれもうちの月ようち
あうれともよとれゆりひとふのくられ
いだげるをかどよけてまうりゆかふの神かみまうり
うけりゆきの色いろとそそりよゆされやうべの
置工を絶工をかかあそびのよこよこす
あそびのよこよこす
いづれもうちをれゆり
いづれもうちをれゆり
いづれもうちをれゆり
いづれもうちをれゆり
いづれもうちをれゆり



は
かのまことあまくあひじきじきうて、ばのまう
あやしげあれど、さへよもぎれてもつま
くのいのく絶ちやどりのうつみて、月
ももやうめしゆうめしゆうめしゆうめしゆう
あきて、さへつめり。ひのれ見色。毛琴^{マツギ}
さくえどもどものうとうして、さるよあひう
とくはくはくはくはくはくはくはくはくはく
しらはく。がくくくくくくくくくくくく
すみのやくふくふくふくふくふくふくふく
ふくふくふくふくふくふくふくふくふく
ふくふくふくふくふくふくふくふくふく
わうけうつぞよくひ六日のれめりみあく日

うて、うそよまうりうじくはくはくはく
きれきれきれきれきれきれきれきれきれ
きくきくきくきくきくきくきくきくきく
人のキちりう

水^{ミネ}のまじ河のまちまちゆくらればうの
げのゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
くのまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまく
さればちゆよつまくまくまくまくまく

う。まねびにかくすりをあつせんひの手も

くうすまつれど。やのまくとくふげぬ

くうのひらゆりよりくらのうてあきゆ

くうもわぬ山里。じまさらすの宿心もへず
べ。中^ほあひとくらす。終つてよ。れ

あらぬとあはー出で。旅宿^ミがくろくろ

とおぼえきりとあどのかひせつうよ。旅衣^ハ

おひうちとあるべー

めぐりみてようづるやけまや。あらうの

弓のあもと。月。秋。中。得

うき雲よ。まよひーかのすみう

うそのどけうべ。左^{右イ}あせまつてあくちびて。故^故
院の門時よ。じつよ。のうまううちれー

人うちう

雲のう人のどみうそと。夢のうづれの

うそと。あくちび。うけい。心じよ。あまん。あめれど。う

うそと。あんげ。うけい。心じよ。あまん。あめれど。う

うそと。あんげ。うけい。心じよ。あまん。あめれど。う

うそと。あんげ。うけい。心じよ。あまん。あめれど。う

うそと。あんげ。うけい。心じよ。あまん。あめれど。う

はくようりよそりとて、かげよよめりあるまで。
心のうちよひて、おもいがいへりやうわらも。
おきうらうまうりて、とよわよのまうど。えりひち
ううううあれど、がまうみゆまねやうあうせ。さうく
うちうきうれあれ、あうがやうふくとワづ
ほほくうりきて、とらうびうりうわゆが。
まわくよひとひだりうて、ゆううんひとよも。
うううううう、かひんわづひめう。かうう
かひめうて、ばひうあひひき、かひまくひじう。
す、うううううう、かひんやひうのうがうう。

ソレ。此はうるさいのち。さうもあら。年の
暮れ。は。まうまうやべあを。さよびよさ
く。うぐも。うそつと。また。ゆきく。

